

コロナに対する免疫において、抗体の役割は・・・さほど大きくはない（重症者では重要）

スパイクタンパク 変異が多い



各種のタンパク 変異が少なく安定

免疫はチームプレイ（各種の細胞や物質のチームワークが大切）

自然な感染の後（あるいは生ワクチンの接種後には）、ウイルスの様々なタンパクに対するバランスのとれた免疫ができる

軽症 → 抗体はできたりできなかつたり
中等症以上 → 抗体ができる

出来た抗体は数年以内に消失する（抗体の消退理由は不明）記憶は残る

スパイクタンパクに対する抗体を大量に産生させる



mRNA ワクチン

イスラエルでは、感染者は半年間接種禁止

感染後1か月以内の接種 → 炎症再燃の恐れあり

免疫系は学習システム → 記憶は上書きされていく

一部の人では影響が強く出る

免疫変調

感染症

↑
コロナも
ウイルス
細菌など

血管炎・心筋炎
血栓症など

アレルギー性疾患
自己免疫性疾患
悪性腫瘍など

一般的にワクチンに期待される効果のイメージ：黒破線

コロナに強いひと ワクチン接種

2-3月

* コロナの流行期と免疫力の低下する時期とが重ならないように接種時期を考える必要がある

実際に起こった対コロナ免疫力の変化：青線

↓日本人の8~9割
コロナに強いひと
未接種

コロナに対する免疫力
(抗体を含む)

2-3週

接種するとコロナに罹りやすくなる時期ができる

回復には1年以上必要

魔の2週間

ワクチンは接種するたびにコロナに対する免疫力を大きくUp-Down、Up-Downしている・・・だけ

コロナに弱いひと
未接種

コロナ以外のウイルスや細菌等に対する免疫力は・・・

コロナに弱いひと
ワクチン接種

Twitter ツイッター等では最新の研究成果が紹介されています。ワクチン推進派、慎重派、双方の意見を見て、今後の接種を計画しましょう。デマも多いので要注意。今後もいろいろな感染症の流行が予測されています。そこで、お奨めの免疫入門の本：「マンガでわかる免疫学」河本宏、オーム社

もともと日本人の多くはワクチン不要だと考えられていました

導入が遅れた → つまり強い外圧で始まった

20220314 → 0402 尾立